

放送大学学園 (所在地：千葉市美浜区若葉2丁目11番地)

事業名

知的障害者のための教育コンテンツを用いた学習プログラムの開発

事業の趣旨・目的

・映像コンテンツ等を用いながら、コーチ、支援者、メンター等が問いかけ等により、理解を補ったり、主題の内容についての意見交換やレポートをまとめるなど、学ぶ場において工夫しながら学習するプログラムを開発する。

・このようなプログラムの実施体制を構築するとともに、大学が提供するプログラムとしての在り方についても検討を進める。

事業実施体制・連携先

連携先：千葉県教育委員会／千葉県立特別支援学校高等学園／さわやかちば県民プラザ

岩永放送大学長を研究代表、特別支援教育・知的障害教育担当の佐藤愼二客員教授(植草学園短期大学特別教授)を研究総括とし、本学の障害者支援に関わる教職員が関わる体制で事業を推進する。

主な対象

知的障害者

事業の取組内容

教育コンテンツ及び手引の制作

中等教育以降の知的障害者に向けて制作した、社会で働く知的障害者が直面する課題とその対処法に関する教育コンテンツ及び手引(3月末取りまとめ予定)を制作した。

学校及び社会教育施設での実践

教育コンテンツ(デモ版：15分×3本)を、千葉県立特別支援学校高等学園の授業やさわやかちば県民プラザの講座等で実際に活用していただき、そのフィードバックを元に課題や効果的な活用法等を検討しながら本格的プログラム制作を目指して改善を続けた。

「仕事の進め方に不安がある」【ドラマ版】、「体調不良が言い出せない…」【イラスト版】、

「仕事で注意を受けたとき」【ドラマ・イラスト併用版】

連携協議会

放送大学及び他大学の教職員、千葉県教育委員会、千葉県立特別支援学校高等学園校長、有識者等を委員とした連携協議会を3回開催し、学習プログラム開発に関する事項について協議を重ねた。

シンポジウム (共に学び、生きる共生社会コンファレンス)

「テーマ：知的障害者のための教育コンテンツを活用した学習プログラムのあり方について」をオンライン開催して、本事業によって得られた成果の普及、及び課題等について意見交換を行い、協力者・協力団体のネットワーキングに繋げた。

デモ版コンテンツ「体調不良が言い出せない…」(イラスト)



デモ版コンテンツ「仕事の進め方に不安がある」(ドラマ)



デモ版コンテンツ「仕事で注意を受けたとき」(ハイブリッド版)



活動の様子



特別支援学校市川大野高等学園

さわやかちば県民プラザ

シンポジウム

その他

- ・「学ぶって楽しい！ 知的障害者と高等教育」(45分番組)生涯学習支援番組 2025年5月～BS231放送予定、その後放送大学Webサイトからオンデマンド配信
- ・「放送大学コンテンツを活かした知的障害者のための学習プログラムの開発事業」ウェブサイト <https://www.ouj.ac.jp/about/gakusyu-contents/>

